

観光社会資本の事例

テーマ 能登地域の地域活性化の核(七尾フィッシャーマンズ・ワーフ「能登食祭市場」)

【施設の状況写真】



平成3年の開館以来、年平均約86万人の来館数を維持している。ユニークな外観は、倉庫を型どり、「さざ波」を表現した屋根には魚の背ビレと尾ビレが乗っていて、大海を優雅に泳ぐ魚の姿をイメージさせる。



能登食祭市場は、「能登生鮮市場」「能登銘産・工芸館」「能登グルメ館」「能登祭歳時館」と、大きく4つの魅力的なゾーンに分けられている。

【施設の利用写真】



能登ならではの生鮮品が並ぶ市場は、威勢の良いかけ声も飛び交い、平日でも多くの人で賑わう。

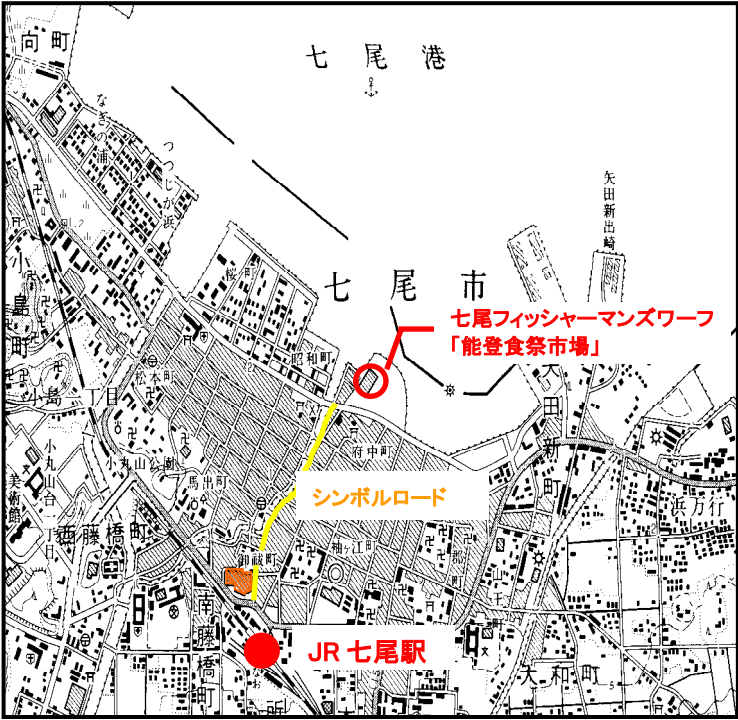


イベント時には、浜焼きコーナーのテントが設置され、新鮮な能登の海の幸などを味わうことができる。

【観光資源としての利用状況】

七尾フィッシャーマンズ・ワーフ「能登食祭市場」は、能登地域の観光名所として観光コースに必ずといっていいほど組み込まれており、多くの観光客が訪れている。

また、平成14年には、隣接地に約3200平方メートルのイベント広場や観光船の船着場、親水広場を備えた臨海公園(七尾マリナーパーク)もオープンし、両施設が一体化したイベントや誘客活動の相乗効果によって能登地域の活性化への活用がさらに期待される。

テーマ	能登地域の地域活性化の核(七尾フィッシャーマンズ・ワーフ「能登食祭市場」)
【社会資本の基礎データ】 ○名称 七尾フィッシャーマンズ・ワーフ「能登食祭市場」 ○所在地 石川県七尾市府中町員外 13 番地の 1 ○事業名 民活法特定施設整備事業 ○事業主体 (株)香島津(第3セクター:石川県、七尾市等) ○事業期間 平成2年～平成3年	
【社会資本の役割・効果】 <ul style="list-style-type: none"> ・テナント・直営店への納入業者の数が多く、地場産業の振興に寄与している。 ・「能登食祭市場」と「パトリア」を結ぶシンボルロードによる周辺商店街への波及効果が生まれた。 ・「能登食祭市場」全体で約100名以上の雇用となり、雇用の増大につながった。 ・能登の新たな観光拠点施設として認知され、能登地域の観光関連産業へその効果が波及した。 ・特産品を活かした地場産品開発の販売の場が生まれた。 ・街づくりに伝統行事が参画(平成4年からはコースも変更して、食祭市場前の道路に乗り入れたり、能登国際テント村も食祭市場周辺で開催されるようになったり、七尾市のシンボリックな役割を果たす施設となった) 	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 能登食祭市場 http://www.shokusai.co.jp	